

さぽうと21

受講協力者募集

難民等への日本語教育を学び・考える

60時間 日本語教師養成研修

文化庁 2019 年度 日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業

■ **対象**：難民等への日本語教育を学びたい日本語教師
全講座参加可能な方優先

■ **日程**：2019年 10月6日(日) ～ 2020年 1月19日(日)

■ **時間**：9:30～15:00

※全60単位相当(45分×60コマ)の講座です。

※研修は原則、日曜日に行われますが、土曜日実施の日もあります。詳しくは裏面をご覧ください。

■ **会場**：さぽうと21 (一部講座は都内別会場利用)

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

JR 山手線「目黒駅」東口より徒歩 3分



■ **申込方法**：

当団体 ホームページの申込メールフォームよりお申込み下さい。

先着順にて受付を終了します。(定員 12名)



◆「受講協力者」の皆様へのお願い◆

本研修は、文化庁委託事業として「難民等に対する日本語教師〈初任〉研修」の研修カリキュラム開発のために実施しております。ご参加にあたりましては、以下、ご理解・ご了承の上、お申し込みください。

1 より良い研修をつくっていくため、研修の様子を録音・録画する場合があります。

2 アンケートや自己評価シート等へのご協力をお願いすることがあります。

※ アンケート結果等は、各講座の効果を検証したり、より良い研修内容を検討するために利用させていただきますと共に、個人が特定されない形で事業報告や発表に使わせていただくことがあります。



主催：社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332

E-mail: kensyu@support21.or.jp

後援：特定非営利活動法人 なんみんフォーラム (FRJ)

社会福祉法人さぼうと21は、1979年に「インドシナ難民を助ける会」として事業を開始して以来、一貫して、難民等、何かしらの特別な事情により日本に留まることとなった方々への日本語教育に携わってきました。彼らの日本での暮らしは「就労先」「学校」「自治体等の地域コミュニティ」などにより支えられますが、そうした日々の暮らしを支えるため、また、彼らがより自分らしく生きていくため、日本語の習得は欠かすことのできないとても大切な要素です。

長年、現場で難民等の日本定住の支援に関わってきた者たちが集まり、「難民等への日本語教育の力とはなんぞや？」を考え、議論を重ねながら、日本語教師（初任）対象の研修をデザインしてみました。ご興味のある日本語教師の方は、ぜひご参加ください。皆様のご参加により、より良い、有意義な研修をつくっていきたく願っています。

※本研修は、受講者の方々からも様々なご意見をいただき、より良い研修をつくっていくためのお手伝いをお願いすることから、受講者の皆様には「協力者」としてのご参加をお願いします。私達もまだ「開発途上の段階」にありますことから、本研修の受講料は無料とさせていただきます。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

【講義内容・日程】 ※講義内容、講師につきましては、変更の可能性があります。

日程	回数	午前① 9:30-11:00	午前② 11:10-12:40	午後 13:30-15:00
		講義・コーディネーター	人見泰弘、矢崎理恵	演習・コーディネーター兼講師
10/6 (日)	1	【講義1】世界における難民等の現状 国連難民高等弁務官事務所 UNHCR 駐日事務所副代表 川内敏月	【講義2】日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等 (公財)アジア福祉教育財団 難民事業本部(RHQ)本部長 杵渕正巳	【演習1】 ・演習全体のガイダンス ・難民等が直面しやすい課題と日本語学習
10/13 (日)	2	【講義3】日本における難民等の現状 武蔵大学社会学部准教授 人見泰弘	【講義4】難民等に対する日本語教育 (公的な支援を中心に) (公社)国際日本語普及協会(AJALT) 常務理事 小瀧雅子	【演習2】 ・多様な「難民」のニーズを日本語学習につなげる1 ・WS 開催に向けた説明
10/20 (日)	3	【講義5】難民等に対する日本語教育 (公的支援以外を中心に) (社福)さぼうと21 矢崎理恵	【演習3】 ・共感的理解をもった聴き手になる 明治学院大学社会学部教授 大瀧敦子	【演習4】 ・当事者の話を聞き、WS や授業実践に繋げる
11/3 (日)	4	【講義6】中国帰国者に対する日本語教育 中国帰国者支援・交流センター 小川珠子	【講義7】学習者要因・言語習得と言語喪失 大正大学人間学部人間学科 准教授 鶴川晃	【演習5】 ・多様な「難民」のニーズを日本語学習につなげる2 ・WS①準備1
11/10 (日)	5	【講義8】難民等の多様性 認定 NPO 法人難民支援協会 鶴木由美子	【講義9】難民等の異文化受容・適応 慶應義塾大学特任講師 伴野崇生	【演習6】 ・難民等のための教材を知る・つくる・アレンジする ・WS①準備2
11/16 (土)	6	【実習1】ワークショップ実施①→振り返り(3単位)		
12/1 (日)	7	【演習特1】リソースの活用法 慶應義塾大学特任講師 伴野崇生	【演習特2】異文化調整能力等 慶應義塾大学特任講師 伴野崇生	【演習7】 ・WS の経験を踏まえて授業案・カリキュラム案について考える、つくる ・WS②準備1
12/8 (日)	8	【講義10】教育・発達心理学 大正大学人間学部人間学科准教授 鶴川晃		【演習8】 ・WS②準備2
12/14 (土)	9	【実習2】ワークショップ実施②→振り返り(3単位)		
1/12 (日)	10	【講義11】難民等の社会参加 (社福)日本国際社会事業団 常務理事 石川美絵子		【演習9】学習の評価とフィードバック / 学習環境の整備や学習の動機づけとその維持のためのサポート
1/19 (日)	11	【講義12】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語学習 慶應義塾大学特任講師 伴野崇生		【演習10】・【私にとつての】「難民等への日本語教育」の限界と可能性・全体のまとめと振り返り、今後に向けて